

第5回

大学の若手研究者ショートプレゼン&交流会
～KOBEアカデミックトーク～

「心と地域を守る力」
～防災教育と心理学から学ぶ持続可能な社会～

プログラムについて

「KOBEアカデミックトーク」は、若手研究者が市民と対話・交流し、大学研究の意義や価値への理解を深める対話型トークセッションイベントです。今回は、関西国際大学から防災と心理学の研究者を迎えて「心と地域を守る力～防災教育と心理学から学ぶ持続可能な社会～」について考えていきます。防災、対人関係、職場環境の3つの視点から、個人の心と体の健康を支えるというテーマで、地域と職場が連携し、持続可能な社会の基盤を築いていくための方策を探ります。プレゼン後のディスカッションタイム・交流会もあわせて皆様のご参加をお待ちしています。

開催概要

【テーマ】

「心と地域を守る力～

防災教育と心理学から学ぶ持続可能な社会～」

【日時】

2025年1月23日(水) 18:30～20:00 (受付18:00～)

【会場】

KOBE Co CREATION CENTER

(神戸市中央区三宮町1-9-1 センタープラザ9階)

【対象】

テーマに関心のある企業、事業者、一般市民、自治体行政関係者、学生 など

【参加】

参加無料、事前申込制 (先着順)

右QRコードからお申し込み下さい

申込期限: 2025年1月17日 (金)



プレゼンター



かわたやすひと

河田 慈人

関西国際大学
高等教育研究開発センター
講師



ぬまた まみ

沼田 真美

関西国際大学 心理学部
講師



いたやま あきら

板山 昂

関西国際大学 心理学部
准教授

ファシリテーター



みやがわ じゅん

宮川 潤

SUNDRED株式会社取締役CFO兼
GM West Region
MIRACLE SCIENCE INNOVATION
株式会社代表取締役 CEO
CoEvolution 合同会社代表
大阪公立大学研究推進機構特任教授
バイオコミュニティ関西アドバイザー

第5回 大学の若手研究者ショートプレゼン&交流会 ～KOBEアカデミックトーク 「心と地域を守る力～防災教育と心理学から学ぶ持続可能な社会～」

プレゼンター

プロフィール



かわたやすひと
河田 慈人

関西国際大学
高等教育研究開発センター
講師

京都大学防災研究所巨大災害研究センターにて、防災教育と地域防災の研究に従事。その後、人と防災未来センターや兵庫県立大学復興政策研究科を経て、現在は関西国際大学高等教育研究開発センターの講師を務めています。被災地支援の豊富な経験を活かし、神戸市教育委員会の学校防災アドバイザーをはじめ、総務省や兵庫県、その他多くの自治体で委員や講師として活躍しています。専門分野は防災教育、地域防災、行政の災害対応。

プレゼンテーマ

「防災教育を通じて、地域の課題解決と活力あるまちづくりへ」

地域社会でのフィールドワークに積極的に取り組んでいます。例えば、三重県伊勢市では、住民が主体となり、防災活動を通じて地域のつながりを強化し、災害時の備えだけでなく、日常の課題にも協力して取り組む意識が生まれています。さらに、神戸市立盲学校や兵庫県立芦屋特別支援学校では、津波避難計画や危機管理マニュアルの見直しを行い、すべての人々が安全に暮らせる環境づくりを支援しています。こうした取り組みは、誰一人取り残さない地域社会の実現に向けた重要な一歩です。防災教育は「災害時の備え」だけではありません。住民同士のつながりを深め、企業や行政、学校が協力し合うことで、地域の課題を解決する大きな力となります。皆さんとともに、安心・安全で持続可能な地域社会づくりとは何かを考えていきましょう。

プロフィール



ぬまたまみ
沼田 真美

関西国際大学 心理学部
講師

目白大学大学院心理学研究科で修士課程（心理学）を修了し、筑波大学大学院人間総合科学研究科で博士課程（心理学）を修了しました。大妻女子大学人間関係学部の助手や目白大学高等教育研究所の助教を経て、現在の職に就いています。専門分野は社会心理学、パーソナリティ心理学、感情心理学、ポジティブ心理学です。対人および個人内の心理過程や、対人関係の維持や適応に関わる心理過程を研究しています。主な著書には、『対人関係を読み解く心理学—データ化が照らし出す社会現象—』（サイエンス社、分担）や、『ポジティブ心理学研究の転換点 ポジティブ心理学のこれまでとこれから』（福村出版、共訳）があります。

プレゼンテーマ

「傷つきやすい心と囚われからの解放 ～対人関係の適応と成長を考える～」

人間関係の中で心が傷ついた経験は、誰にでもあるものです。しかし、その傷をどのように受け止め、成長や適応につなげるかが、私たちの生活や仕事に大きな影響を与えます。今回のアカデミックトークでは、心理学の視点から、心が傷ついたときに生じる反応や変化のプロセスを解き明かし、個人の特性や感情の特徴を踏まえた対処法をご紹介します。また、変化する周囲の状況にどのように適応し、より良い人間関係を築いていけるのかについて、最新の研究成果を交えてお話しします。

プロフィール



いたやまあきら
板山 昂

関西国際大学 心理学部
准教授

関西国際大学大学院犯罪心理学コースで修士課程（行動科学）、その後、神戸学院大学大学院博士後期課程（人間文化学）を修了しました。専門分野は犯罪心理学、社会心理学、法と心理学であり、特に社会的制裁、犯罪者に対する偏見と更生支援の態度、犯罪心理学から見た不祥事・ハラスメント対策について研究を行っています。現在、法と心理学会の理事を務めるとともに、岡山県教育委員会の教職員不祥事防止対策チームのアドバイザーとしても活躍中です。主な著書に『入門 司法・犯罪心理学』（共著、有斐閣）があります。

プレゼンテーマ

「心理学から考える職場の不祥事・ハラスメント～原因を知り、対策を考える～」

職場で起こる不祥事やハラスメントは、組織全体の信頼や生産性を低下させ、働く人々のモチベーションを大きく損ないます。では、なぜこうした問題が発生するのでしょうか。その背景には、個人の心理的な要因だけでなく、組織の仕組みや文化が関係していることも少なくありません。犯罪・社会心理学の視点から、不祥事やハラスメントが生まれる原因をわかりやすくお話しし、具体的な対策について皆さんと一緒に考えます。職場環境の改善や組織の健全な成長に向けて、心理学を活用したヒントをお届けします。